

校内研修計画

甲州市立塩山北小学校

1 学校課題

本校の学校教育目標は、「心豊かで生きる力のある子ども」の育成であり、この目標を達成するため、昨年度、校内研究会において、言語活動を充実させることを目指した授業改善に取り組んできた。その成果として、自分の考えを持ち相手に伝えようとする態度が育ってきたり、友達と考えを交流して思考を深めることができたりと、子どもたちの変容が見られた。子どもたちは、意欲的に言語活動に取り組むことができ、友達と関わり合っ

て学ぶことによって、子ども一人一人の思考力をより高めることができたと考えられる。しかし、自分の考えを集団の中で発表することに抵抗があったり、自信を持って発表できなかったりする子どもも少なくない。また、発表の仕方、書く内容など、まだ個人差がある現状である。昨年度の成果である、友達との交流に意欲的な面をさらに生かし、子どもたちが、進んで自分と友達の考えを伝え合いたい、交流したいと思える関係をつくっていく必要がある。そして、子どもたちのより豊かな交流を取り入れた学習活動を展開することが、今後求められる。

2 研究主題

「生き生きと学び合い、心豊かに生きる子どもの育成」
～進んで話し合いができる学習集団づくりを通して～

3 主題設定の理由

昨年度のQU検査では、11月の検査で、全学級親和的集団という結果であったが、その中でも不満足・要支援群に位置する児童も見られ、個々に問題を抱える児童も少なくない。また、全国学力・学習状況調査や県学力把握調査から、文章を読み解くこと、資料と関連づけて自分の考えを書くことなど課題となっており、学級集団づくりをより学力の向上に結びつけていくことが求められる。

以上のような実態から、まず、各学級で「教育力のある学級集団の育成」のための取り組みをより重視して行うことが必要になる。そして、一人一人がお互いに認め合い、自信を持って自分の考えを発表することができる学習集団を形成し、その中で学習成果の発表や意見の交流を充実させたい。それによって、子どもたちの思考力・判断力・表現力が、ますます育成されるのではないかと考える。

そこで今年度は、学級集団づくりを、より計画的に行いたい。そして、その取り組みを基盤にし、また、これまでの研究で培ってきた成果をもとにし、各教科や領域において、伝え合い、学び合いを取り入れた授業づくりを行いたい。尚、今年度も、言語活動を支える読む力、語彙力、言語への関心の育成のため、読書活動の推進も継続して行う。

4 研究の具体的内容と方法

(1) 具体的内容

- QUの実施・結果分析（5月、10月）と、それをもとにした集団づくり
- 学級集団づくりを生かした話し合い、意見交流等の授業実践
- 読書活動の推進

(2) 研究の方法

- QUテストの実施・分析と学級づくり
- 各種検査により各学年の課題となることを明らかにし、それに向けて具体的な手立てを検討する。

○授業研究会（2回）

学級集団づくりに取り組んだ成果を生かし、話し合い、発表、意見交流等の授業。

○一人一実践

5 年間研修計画

(研究主任 吉本 賢司)

回	研究	担当	形態・場所	月日	指導主事 招 聘
1	本年度研究の方向性と概要	研究主任	全体会	4月16日	
2	本年度研究の計画と研究の組織	研究主任	全体会	4月30日	
3	部会研究	ブロック長	部会	5月14日	
4	QUの分析	研究主任	全体会	6月11日	
5	部会研究	ブロック長	部会	6月19日	
◇	甲州市「確かな学力」育成プロジェクト 教育講演会	甲州市		7月 2日	
◇	「授業づくり・授業改善」に関わる学習会	甲州市		7月 9日	
	ブロック交流会 学級集団づくり講演会	塩中ブロック		7月30日	
6	特別支援校内研修会	特支	全体会	8月20日	○
7	ブロックの研究経過報告・部会研究		全体会部会	8月27日	
8	部会研究	ブロック長	部会	9月 3日	
9	部会研究	ブロック長	部会	9月10日	
10	授業案検討Ⅰ	授業者	全体会	10月 8日	
11	授業実践提案Ⅰ	授業者	全体会	10月24日	○
◇	「授業づくり・授業改善」に関わる学習会	甲州市		10月22日	
◇	「学級づくり・集団づくり」に関わる学習会	甲州市		10月28日	
12	授業案検討Ⅱ	授業者	全体会	11月 5日	
13	授業実践提案Ⅱ	授業者	全体会	11月19日	○
◇	甲州市「確かな学力」育成プロジェクト 教育講演会	甲州市		11月27日	
14	部会研究のまとめ	ブロック長	部会	12月10日	
◇	「学級づくり・集団づくり」に関わる学習会	甲州市		1月21日	
15	研究のまとめ	研究主任	全体会	1月28日	
16	研究のまとめ・来年度に向けて	研究主任	全体会	2月25日	
17	研究紀要作成	研究主任	全体会	3月 4日	